

小牧市 (仮称) 史跡センター

展示基本設計図書

概要版

展示のテーマ

- ①歴史の表舞台に登場した歴史遺産 戦国・安土桃山時代の城郭、まちづくり
 - 織田信長が初めて手がけた城と城下町
 - 小牧・長久手の合戦の徳川家康の陣城・砦群
- ②緑豊かな小牧山の貴重な自然
 - 周辺地域に見られない貴重な照葉樹林

展示の方針

- ①歴史、自然など多様な視点で小牧山を捉え、展示を構成
- ②小中学生をメインターゲットに、体感的に学ぶことができる内容
- ③展示に出会った時のインパクトを重視し、来館者の興味を喚起

空間の方針

- ①柱が少なく、迫力のある大型展示が可能な空間
- ②資料の更新や利用形態の変更を考慮した可変性のある空間
- ③エントランスからのアクセスを考慮した、開放感のある空間

展示体験のストーリー

時代を経るごとに形や用途が変遷し、さまざまな魅力を持つ小牧山。

そんな「小牧山の多様性」を全身で体感・体験する展示体験を提供することで、歴史の表舞台に登場した歴史資産、緑豊かな貴重な自然、育まれてきた文化など、小牧山の史跡としての価値を子どもから大人まで、わかりやすく伝える展示とします。



常設展示

1 エントランス

小牧山の「今」を紹介することで、史跡としての多面的な魅力を発信

2 小牧山シアター

小牧山の持つ多様性を軸に、来館者の小牧山への興味を喚起

3 戦国の小牧

戦国時代を切り口に、歴史の表舞台に登場する小牧山を紹介

4 小牧山城と城下町

小牧山城・城下町の先進性、現代の町とのつながりを複合的に訴求

5 土の城から石の城へ

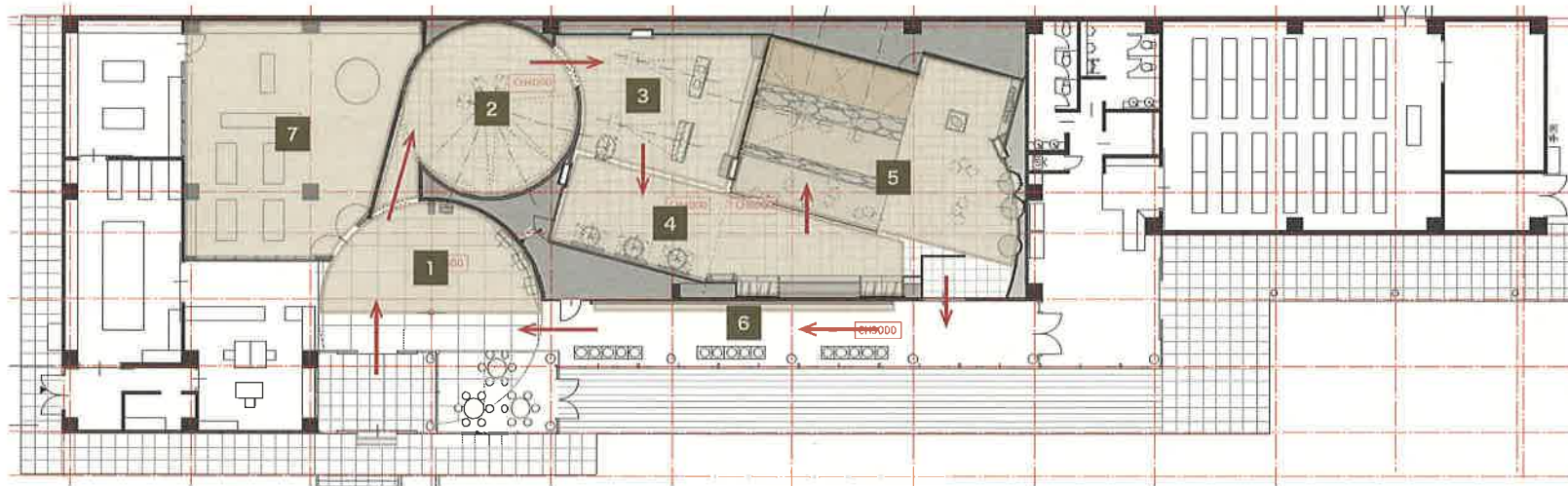
1/1で再現する石垣モデルへの映像投影により、圧倒的な迫力とわかりやすい解説を提供

6 小牧山ヒストリー

小牧山の歴史を一度に見ることができるギャラリー

7 企画展示

展示・収蔵・研究が三位一体となったフレキシブルな空間を展開



施設全体平面図

展示の概要

1 エントランス

小牧山の「今」を紹介することで、史跡としての多面的な魅力を発信

小牧山の基本事項や全体の概要をイラスト等を用いて紹介。展示室を視覧しない来場者にも小牧山のガイダンスができる内容とする。小牧山に登る際のマナーや地域の情報もあわせて紹介し、大型グラフィックを活用することで、小牧山の多様な価値や雄大なイメージを伝える。

また、交流サロンと空間としてのつながりをもたせることで開放的で明るいエントランスをめざす。



2 小牧山シアター

小牧山の持つ多様性を軸に、来館者の小牧山への興味を喚起

小牧山の多様性にふれることで、その後の展示や現地への興味を喚起するシアター。来館者のアクションにより変化する映像とすることで、子どもでも楽しく全身で小牧山を体感し、学ぶことができる構成とする。

映像には小牧山の美しい四季や小牧市のまつりの様子、歴史的価値などを伝える内容を盛り込み、小牧山の多様性を伝える。



映像イメージ

3 戦国の小牧

戦国時代を切り口に、歴史の表舞台に登場する小牧山を紹介

小牧山・小牧山城が歴史の表舞台に登場するにあたっての時代背景、小牧山城の重要性を、「織田信長による小牧山城築城」「小牧・長久手の合戦」の2つの視点から伝える。

子ども向けには、小牧山城に関わった戦国武将や関係人物への映像をタッチして遊びながら学ぶことのできる展示を用意し、楽しみながら学ぶことのできる展開とする。



4 小牧山城と城下町

小牧山城・城下町の先進性、現代の町とのつながりを複合的に訴求

時代による小牧山城の段階的な変遷を模型で表す展示と、小牧山城下町の先進性や現代の町とのつながりを伝えるための展示を組合わせて解説する。

また、城下町各地における出土品を展示することで、当時の生活の様子を伝える。出土品の展示ケースは、企画展示で使用する展示ケースと入替え可能な仕様とすることで、可変性に富んだ展開を可能とする。



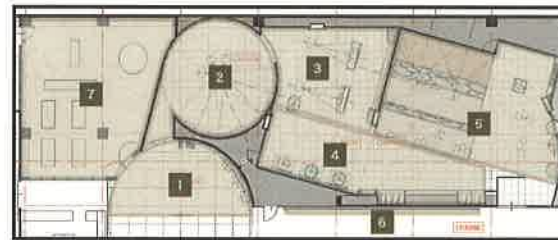
5 土の城から石の城へ

1/1で再現する石垣モデルへの映像投影により、圧倒的な迫力とわかりやすい解説を提供

信長の築いた小牧山城の石垣の意義、スケール感、全体像をストーリー性のある映像による解説で伝える。

1/1で石垣を再現し、迫力を演出するとともに、その石垣が小牧山城のどの部分なのか、どのような構造なのか、実際に現在小牧山のどこで見られるのかを立体的に紹介することで、現地へと来館者を誘引する。

また、石垣の前面だけでなく断面の構造まで丁寧に解説することで、幅広い年齢の来館者が理解できる展開とする。



佐久間(墨書)の石垣石材



6 小牧山ヒストリー

常設展示室を出た廊下に、小牧山の歴史を一度に見ることのできる年表形式のグラフィックを展開。

時代を区分しながら、それぞれの時代での小牧山の様子を紹介する。写真や画像があるものについてはあわせて展示するものとする。



7 企画展示

収蔵品や出土品を活用した展示(収蔵展示を兼ねる)を行う企画展示室、調査の結果を収蔵し、作業の様子を公開する収蔵公開スペース、蔵書や報告書が一般に開放された資料研究の3つをフレキシブルに運用可能な空間とする。

収蔵公開スペースはガラス張りでの様子を見学可能な空間とし、企画展示室と資料室は必要に応じて仕切ることが可能な空間とする。

